

カロム倶楽部 第37号

2006/12/3 発行:日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

お待ちかね！レーティング・ポイント・ランキング発表

奥居聡氏、逆転ならず！その差広がる。純也氏・克司氏、大きく稼ぐ！

門野純氏、T戦制覇しポイントアップ！T戦準優勝は門野隆氏！！

國武氏、奥居氏・克司氏・山崎氏らに勝利、136pt獲得でTOP10目前！慎次氏118pt↓等氏114pt↓の絶不調！

井戸氏、5敗(3勝)を喫しTOP10陥落。「出直しです。」のコメント残す。文哉君・龍也君・夏帆さんに新たな壁か！？

第37回順位	第37回レーティング	氏名	第36回順位	第36回レーティング	第35回	第34回
1	1,452	門野裕司	1	1,452	1	1
2	1,413	奥居聡	2	1,451	2	2
3	1,358	門野純也	7	1,287	4	4
4	1,340	角田克司	8	1,254	9	7
5	1,315	伊藤明雄	4	1,315	5	5
6	1,304	山崎匠	3	1,360	3	3
7	1,296	鈴木智也	5	1,296	6	6
8	1,265	門野勉	6	1,292	7	9
9	1,229	門野隆	13	1,189	15	13
10	1,222	角田浩司	9	1,222	8	8

選手権大会後、しばらく振りの定例競技会。上位陣では、門野純也氏がT戦を制し、日本チャンピオンの貴祿を見せた。克司氏、國武氏が絶好調をキープ、ランキングを上げた。トーナメント戦では、門野隆氏が久々の活躍で準優勝に輝く。文哉君、龍也君、夏帆さんも着実に実力をアップさせているが、新たな壁かポイントが伸びない。この壁を乗り越えて新しい世界に漕ぎ出して欲しいね。年末年始は家族が揃う機会が増える。しっかり自主トレ&武者修行で、新しい年、新たな目標を見つけよう！20回に向けて・・・。

第37回順位	第37回レーティング	氏名	第36回順位	第36回レーティング	第35回	第34回	第37回順位	第37回レーティング	氏名	第36回順位	第36回レーティング	第35回	第34回
11	1,216	秦 滋	17	1,170	11	23	31	1,093	古川慎次	11	1,211	39	39
12	1,198	柴田宜秀	12	1,198	13	12	32	1,084	森下博	31	1,084	31	31
13	1,197	國武博之	35	1,061	0	0	33	1,077	岡村博之	32	1,077	32	33
14	1,179	奥居美加	15	1,179	14	10	33	1,077	北川 豊	32	1,077	32	33
15	1,171	門野 悟	16	1,171	16	15	35	1,073	門野 等	14	1,187	12	14
16	1,161	小水 元	18	1,161	17	16	36	1,061	筒井一男	35	1,061	34	31
17	1,149	井戸真也	10	1,218	10	11	37	1,060	赤井康彦	37	1,060	35	35
18	1,146	疋田真奈人	19	1,146	18	17	38	1,054	奥居由紀	38	1,054	37	37
18	1,146	高橋 靖	19	1,146	18	17	38	1,054	竹腰裕紀	38	1,054	37	37
20	1,144	疋田 敏	21	1,144	20	20	40	1,047	安田佳代子	40	1,047	40	40
21	1,143	小川睦博	22	1,143	21	21	41	1,043	馬淵克一	41	1,043	41	41
22	1,138	田島一成	23	1,138	22	17	41	1,043	梶塚浩貴	41	1,043	41	41
23	1,134	辻 克治	24	1,134	23	22	43	1,041	大須賀貴幸	43	1,041	65	76
24	1,126	芝田 清	25	1,126	24	24	44	1,040	大橋文子	44	1,040	43	43
25	1,119	高橋 滋	26	1,119	25	25	45	1,035	古川正夫	45	1,035	44	44
26	1,116	八田 猛	27	1,116	26	26	46	1,034	疋田なつき	46	1,034	45	45
27	1,106	久木 寛	28	1,106	27	27	47	1,031	田中久由	47	1,031	46	47
28	1,104	古川弘樹	34	1,067	30	30	48	1,024	中川一志郎	48	1,024	47	46
29	1,102	若林良仁	29	1,102	28	28	49	1,020	川合四郎	49	1,020	48	49
30	1,100	梶塚浩三	30	1,100	29	29	50	1,018	若林 拓	50	1,018	49	50

第37回 順位	第37回 レーティン グ	氏 名	第36回 順位	第36回 レーティン グ	第35回	第34回	第37回 順位	第37回 レーティン グ	氏 名	第36回 順位	第36回 レーティン グ	第35回	第34回
51	1,017	和泉フサ子	51	1,017	50	48	101	941	久木美智代	102	941	102	101
52	1,011	勝間宥一郎	52	1,011	52	51	102	940	岡 祥介	103	940	103	102
52	1,011	井戸美沙希	52	1,011	52	51	102	940	井戸大志	103	940	103	102
52	1,011	浜口浩一	76	982	64	75	102	940	梶塚美代子	103	940	103	102
55	1,009	梶塚美稀	54	1,009	54	53	105	938	河嶋成浩	107	938	106	105
56	1,007	田中利和	55	1,007	55	54	106	937	古川夏帆	87	968	94	93
57	1,004	北村篤司	56	1,004	56	55	106	937	長谷川智之	108	937	107	106
58	1,002	河嶋浩二	57	1,002	57	57	108	934	熊川三興	109	934	108	107
59	1,000	福富敬雄	58	1,000	58	55	109	933	横田美代子	110	933	109	108
59	1,000	小出 努	58	1,000	58	58	110	930	門野佑紀	111	930	110	115
59	1,000	中川敏郎	58	1,000	58	58	111	927	浜口泰子	112	927	111	109
59	1,000	矢田嘉彦	58	1,000	58	58	112	924	浜口ふゆ	113	924	97	96
63	999	教野正和	62	999	62	61	113	921	辻本龍男	114	921	112	110
63	999	門野大河	62	999	62	61	114	920	湊 加津夫	115	920	113	111
65	984	森 豊	65	984	66	64	114	920	秦美代子	115	920	113	111
65	984	遠藤年生	65	984	66	64	116	919	馬淵有加里	117	919	115	113
65	984	鏑田一治	65	984	66	64	117	917	野口しのぶ	127	897	125	125
65	984	前田 修	65	984	66	64	118	915	川上 智	118	915	116	114
65	984	鬼沢一彦	65	984	66	64	119	913	井川良一	119	913	117	115
65	984	西澤清隆	65	984	66	64	119	913	馬淵紗也加	119	913	117	115
65	984	奥居雅彦	65	984	66	64	121	910	古川貴朗	121	910	119	118
65	984	田中ふじえ	65	984	66	64	122	908	浜口知奈	122	908	120	119
65	984	横山秀也	65	984	66	64	123	903	角田龍也	103	940	136	120
65	984	深田 蕃	65	984	66	64	124	902	山本喜信	123	902	121	121
65	984	林 良治	65	984	66	64	125	901	若林伸亨	124	901	122	122
76	983	安田良介	64	991	51	63	126	899	小川千歳	125	899	123	123
77	981	上田旨宏	77	981	77	76	127	898	門野 修	126	898	124	124
78	980	河合大樹	78	980	78	78	128	896	井川雅子	128	896	126	126
79	979	篠原重美	79	979	79	79	129	893	井川裕貴	129	893	127	127
80	977	山口 篤	80	977	80	80	130	891	篠田耕太	130	891	128	128
80	977	門野文哉	94	958	142	134	131	887	梅田 零	131	887	129	129
82	976	石川雅一	81	976	81	81	132	886	井川達貴	132	886	130	130
83	975	堤 周徳	82	975	82	82	133	882	平井 治	133	882	131	132
83	975	松田充弘	82	975	82	82	133	882	久木 武	133	882	131	132
85	974	馬淵加奈恵	84	974	84	84	135	876	馬淵加寿美	135	876	133	134
86	970	北川敦久	85	970	85	85	136	875	梅田拓未	136	875	134	136
86	970	高橋勝巳	85	970	85	85	137	861	新木泰子	137	861	136	138
88	968	森 城斗	87	968	87	87	138	857	太田英史	138	857	138	139
88	968	森 海斗	87	968	87	87	139	856	鈴木則成	139	856	135	137
90	966	高原淳志	90	966	89	89	140	855	松本伸次	140	855	139	140
90	966	後藤治郎	90	966	89	89	141	853	三島和史	141	853	140	141
92	959	井川ともみ	92	959	91	91	142	850	林 三郎	142	850	141	142
92	959	井川さとみ	92	959	91	91	143	846	松原清美	143	846	143	143
94	956	田沢 光子	95	956	93	0	144	843	猪飼弘実	144	843	144	144
95	952	柳 圭二	96	952	94	93	145	821	柴田久美子	145	821	145	145
96	951	平井芳治	97	951	96	95	145	821	大石よう子	145	821	145	145
97	946	西野幸子	98	946	98	97	147	812	山崎房子	147	812	147	147
98	944	荒木正義	99	944	99	98	148	794	清水健一	148	794	148	148
98	944	久木 茂	99	944	99	98	149	754	寺嶋宏展	149	754	149	150
100	942	川上 徹	101	942	101	100	150	745	若林武和	150	745	150	149
							151	731	木村浩一郎	151	731	151	151

きさくな話□□□。

近江の国、多賀町。役場駐車場の一角に「喜作」なる店がある。僕と同級生の店主はもとより、奥さんもとっても気さくな人で、ウィークディの昼時や週末の夜はたくさんの人で賑やかだ。多賀大社にも近いので、大晦日&元旦も営業している。初詣の際にはぜひお立ち寄りを！

って、店の宣伝をするのが本意ではない。

まずは1枚の写真から見ていただこう。



前回の定例競技会での一戦である。写真の右から緑（青）が攻め、左から赤が攻めている。

この場面で、攻撃の権利は緑にある。一見、緑の絶対有利と見えるが、ジャックが赤のバックによってブロックされてしまっている。強引にジャックを沈めてしまおうと、奇跡的なスーパーショットを期待しないわけではないが、ミスれば一転、赤の連続ポケットイン。そして、ファイナルショットを目の当たりにすることになってしまう。「攻め」か「守り」か、思案のしどころである。

無鉄砲な僕なら、きっとジャックを沈めにいくと思う。そうして、見事にポケットをかすめて相手陣地内に止まってしまったジャックと、自分の軽薄な戦法と思慮&技量の無さに嘆きながら、ニヤニヤしている相手の最後のショットを待つことになりそうだ。

では、無理に攻め込まず相手のミスをひたすら待つ戦法を選んだとしよう。相手のバックを下手に動かしてしまうと命取りなので、「空打ち」で出方を窺う。仮に僕が赤なら、先ず一番左側のバックを沈めて、次に二つ並んだ赤バックの左から順番に沈めていこう。 (前もって断っておくが、実際にそのレベルのテクニックが有る無しは別問題の話である) そしていよいよジャックの脇に添う赤バックである。条件的には、緑がジャックを狙うのとほとんど変わらないくらいの難度である。必ずポケットに入るなどという保証はあるはずもない。だがここで肝心なのは「流れ」である。連続してバックを沈め、数的劣性から這い上がって、同点・逆転のチャンスである。「追う者の強み」なのである。カロムに限らずスポーツやゲームなどの場合、往々にして「追う者」が勝利を手にする場面に出くわしてしまうものだ。「流れ」「勢い」からすれば、かなりの

確率で、ジャックの傍らの赤バックはポケットに沈み、大逆転勝利の見出しが紙面を飾ることになるような気がする。

さあ、話を現実に戻そう。緑はエリアライン上にストライカーをセットして、静かに狙いを定めた。



次の瞬間、僕たちは啞然とした。エリアラインから放たれたストライカーは、ジャックはおろかカロム盤の壁にクッションすることもなく、真っ直ぐにポケットに吸い込まれていった。奇策だ！と僕は思った。当然ペナルティが課せられて、緑のバックがひとつ、カロム盤の中央に戻される。で、こんな風な配置になるわけだ。



攻撃権は赤に替わった。しかし、ジャックスポットに置かれた緑のバックが効いている。左側の赤バック3個は沈められそうだが、第四のバックが難関だ。いや正確に言うなら難関にされたのだ。

結局この勝負、緑の奇策に押し潰されたのか、赤が早々とミスショット。しかも、バックに配置も大きく変わり、緑が勝利を手中に収めた。

プレーヤーとしてカロムを楽しむのは実に愉快である。思い通りのショットが決まれば、ハスラーチックに喜んでもする。でも、他人の戦法を覗いてみることも結構面白いものである。特に、「今度使えそうな奇策」に出逢うことができたなら、それはかなり得した気分になれる。そして、自分のボトムな技量も忘れてしまえるのだ。

ネットな話・・・。

このところ「カロム談話室」(日本カロム協会公式ホームページにある掲示板)の書き込みが盛んなので、ピックアップして紹介したいと思います。

まずは、「京都カロム協会」の話題から。

私たち日本カロム協会と同じように、カロムを楽しみ、カロムを通じてネットワークを拡げ、カロムをもっとたくさんの人に知ってもらおうという思いから、京都で独自にカロムコミュニティーを主宰していらっしゃる方がお見えになります。食事ができるお店を運営なさっているようで、月に1回カロム教室も開催されています。ご自身も日本選手権大会ベスト8の実力の持ち主で、文字通りプレーイング・マネージャーでいらっしゃいます。

日本選手権大会終了後程なく、第1回京都カロム選手権大会を開催、彦根からの参戦を希望されましたので、談話室で紹介をしたところ、日本チャンプの門野純也・裕司兄弟が、聖地からの刺客として参戦してくれることになりました。チャンプの誉れと刺客の使命を背負ってかどうかは定かではありませんが、勇んで出陣してくれたのですが、競技会場が間違っていたようで、残念ながら不戦帰還。京都選手権初代チャンピオン獲得は現実のものとなりませんでした。

その後も虎視眈々と京都制覇も狙っていた門野兄弟は、11月に開催された第2回京都カロム選手権大会に満を持して出場、持てる実力を思い存分に発揮して、見事チャンピオンに輝かれました。



(第2回京都カロム選手権大会の様子: SARASA かもがわさんのホームページより転載させていただきました。)

門野兄弟からの詳しい報告をお聞きしてませんので、京都の皆さんの実力や戦術・戦法などは推測の粋を脱しませんが、月いちペースの練習会、三ヶ月に1回の選手権大会、そして写真では良くわかりませんが、重々しく怪しげな、虎の穴的雰囲気。決して侮れない。いや、近い将来日本選手権大会でも、上位に名を連ねるプレーヤーが輩出されるに違いない、そんな情熱を感じました。

近々第3回京都カロム選手権大会も開催されるとの便りもあります。晩秋? 初冬? の京都にお出掛けになってみては如何でしょうか?

SARASA かもがわさんのホームページはこちらです。

<http://www.cafe-kamogawa.com/>

定例競技会のご案内

日時: 2007年2月4日(日)

13:30~16:30

(受付13:00~)

会場: 文教スタヂオ5Fコンベンションホール

参加費: 300円(ひとり)

(おつりの要らないように小銭をご準備願います)

会場には駐車場がございません。

公共交通機関をご利用いただくようお願い申し上げます。

文教スタヂオさんの駐車場には駐車されないようお願いいたします。



ぶれいくしよつと



すみませんm(_ _)m
今回は大ブレイクです。

私事で恐縮ですが、京都カロム協会を採り上げたからとか、行楽の秋・文化の秋・芸術の秋だったという理由ではありませんが、今秋の京都御所一般公開に出掛けてきました。テレビでは何度も見た場面ですが、生まれて初めて御所の中に潜入してきました。残念ながら、御所とカロムを結びつける事実を、今回は発見できませんでした。御所に行ったその足で欲張って、「第58回正倉院展」にも潜入してきました。本年は聖武天皇の1250年目の御遠忌(ごおんき)に当たり、記念すべき年でもあり、初公開の宝物も多数展示されていて、太古の浪漫を満喫してきました。こちら残念なことに、聖武天皇の遺品とカロムの因果関係は無いように感じざるを得なかった。が、御所&正倉院で多くのヒントをもらいました。20回記念大会に向けて・・・。